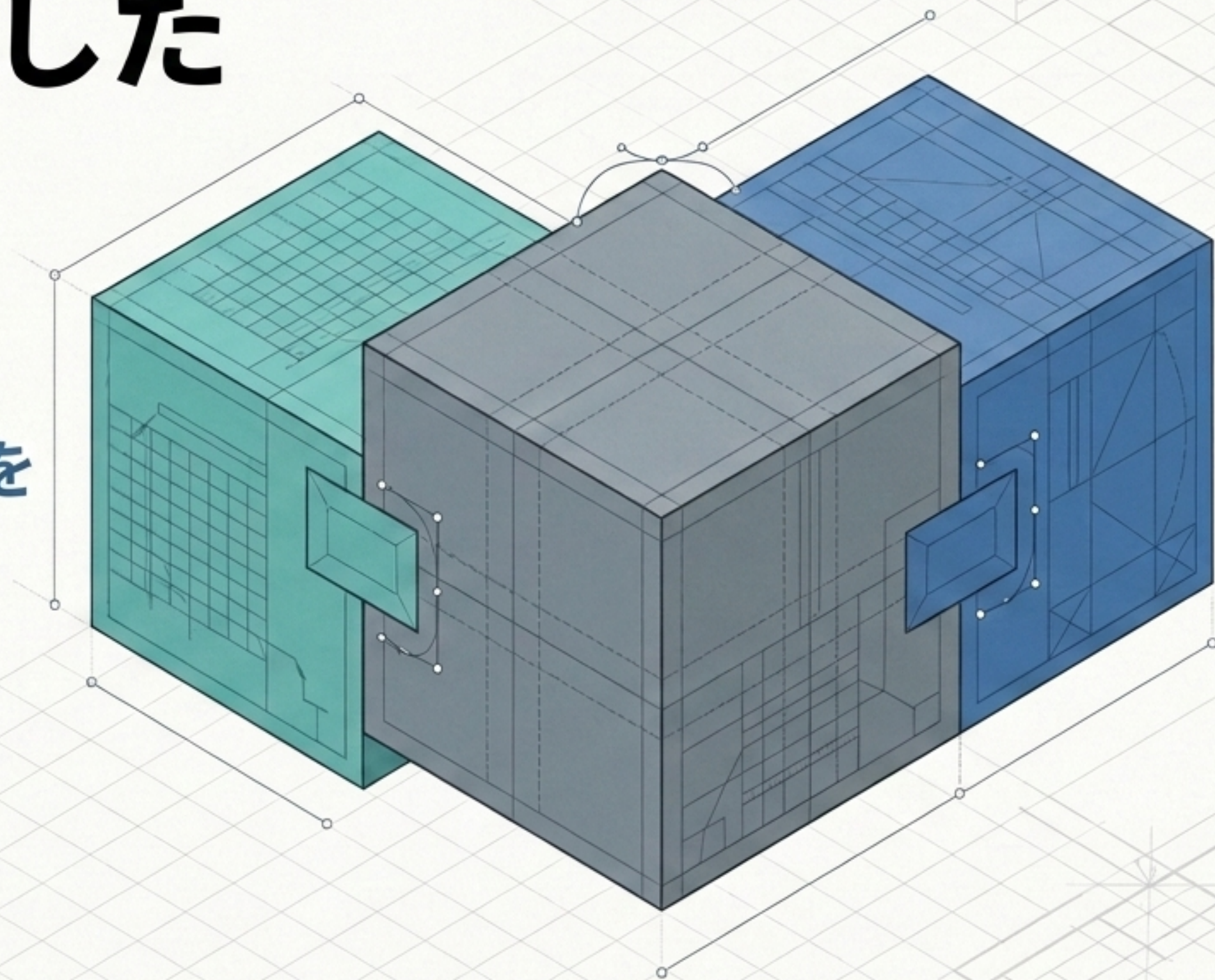


感覚統合を主とした 個別支援計画の 設計図

質の高い支援と確実な加算取得を
両立する実践プロセス



3つの柱

発達課題の的確な把握

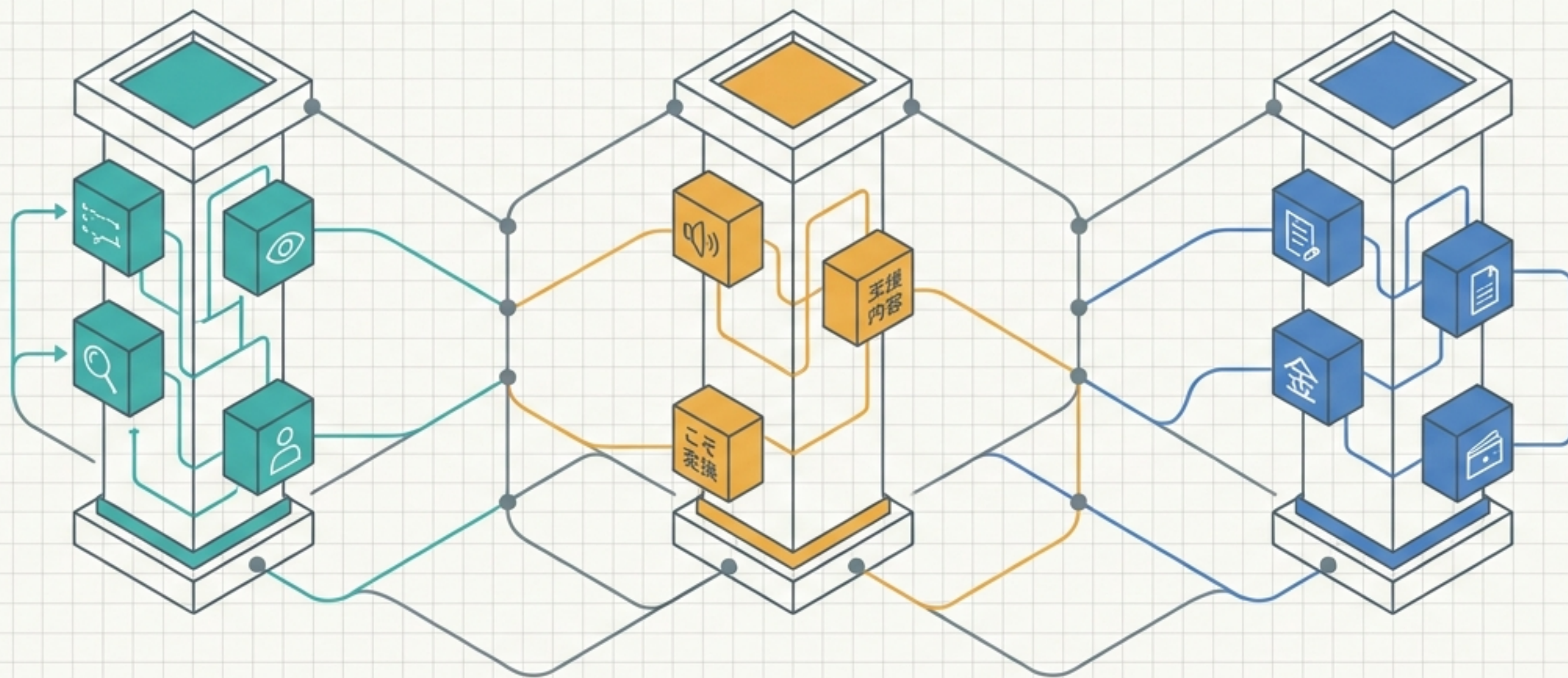
前回の研修で学んだ「発達課題チェック表」を前提とした現状分析。

具体的な支援の構築

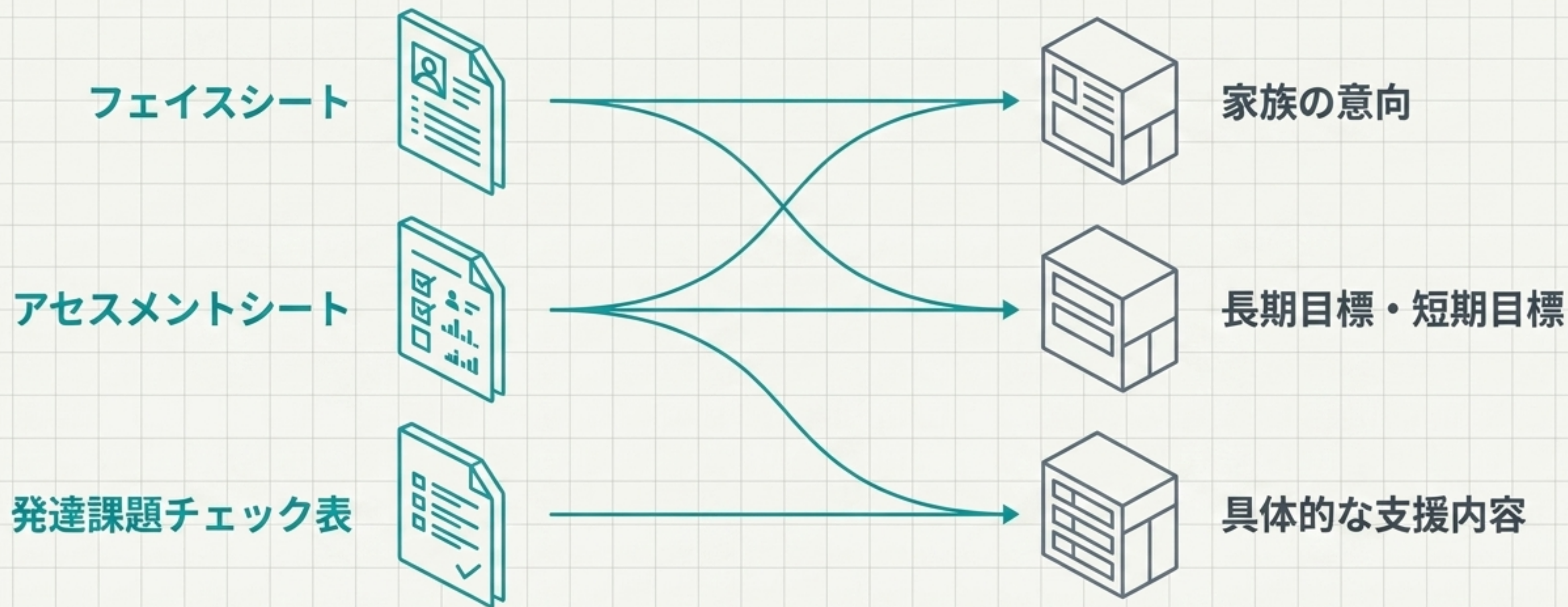
観察に基づき、感覚刺激と遊具を紐づけた実効性のある計画。

確実な加算取得体制

留意事項への適切な記載による、施設運営の基盤強化。



情報の流れ



情報の出所を明確にし、根拠のない記載を防ぐ。

長期目標

アセスメントに基づく大きな方向性

短期目標

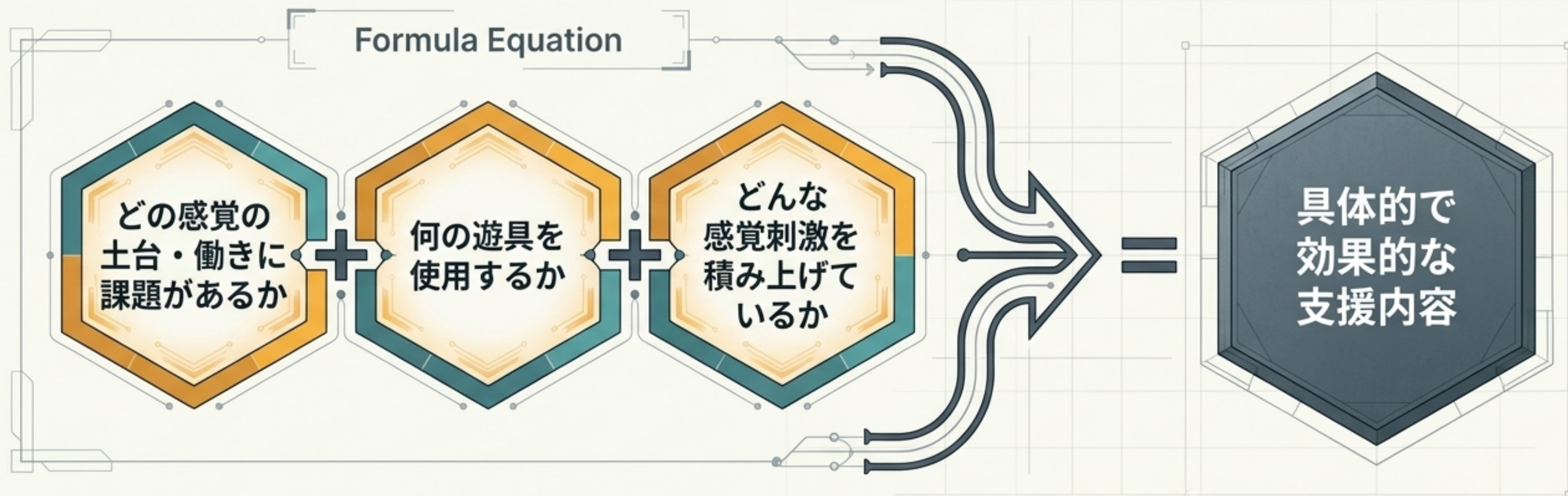
達成可能なステップへの細分化

支援目標と支援内容

日々の活動レベルへの
落とし込み

ここで「発達課題チェック表」のチェックマークと完全に連動させる。

Modular Blueprint



注意: 課題チェック表を深く理解せず記入すると、実際の支援と内容がずれるリスクがある。

観察: 子どもが回る遊びを好んで選択している。

THEORY FRAMEWORK

どの感覚の
土台・働きに
課題があるか

何の遊具を
使用するか

どんな
感覚刺激を
積み上げて
いるか

課題:
前庭覚への
アプローチ

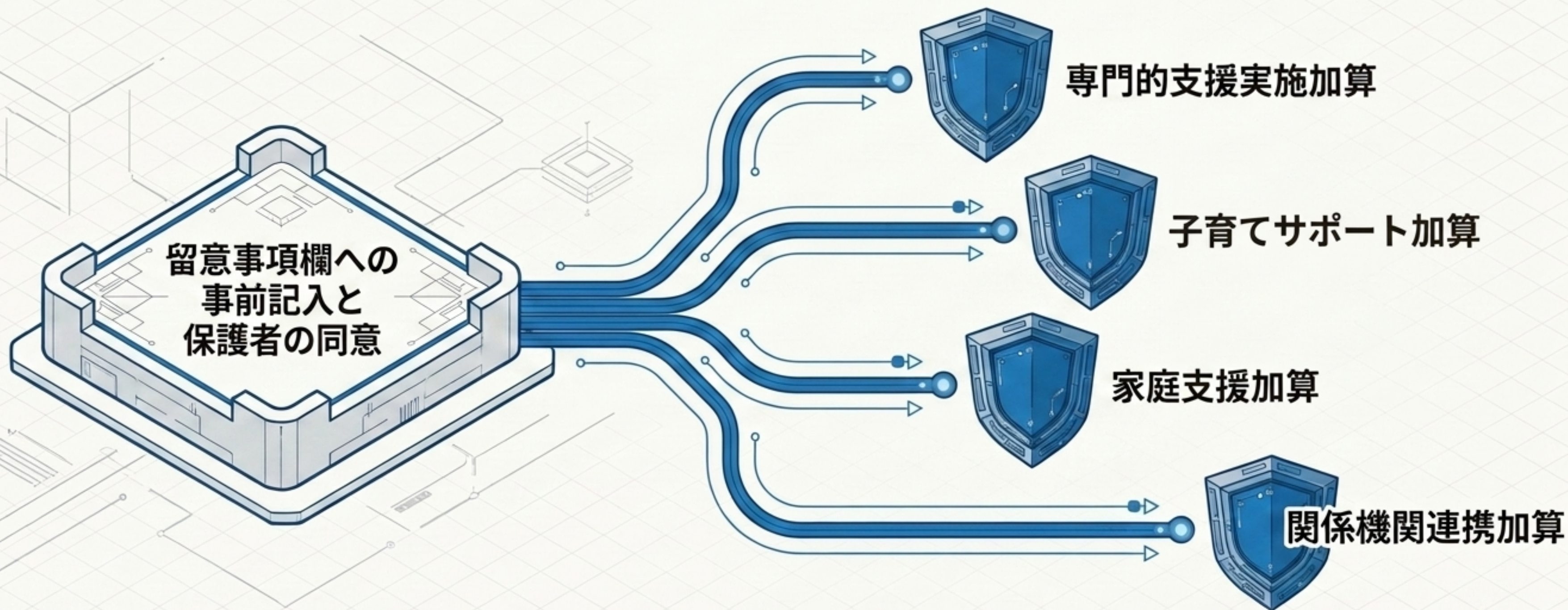
遊具:
「ハンモックを
使用」と明記

刺激:
回転による
前庭感覚の入力

PRACTICE
APPLICATION

子どもの実際の遊び方（観察）から、使用する遊具を特定する。

Modular Blueprint: Financial & Compliance Additions



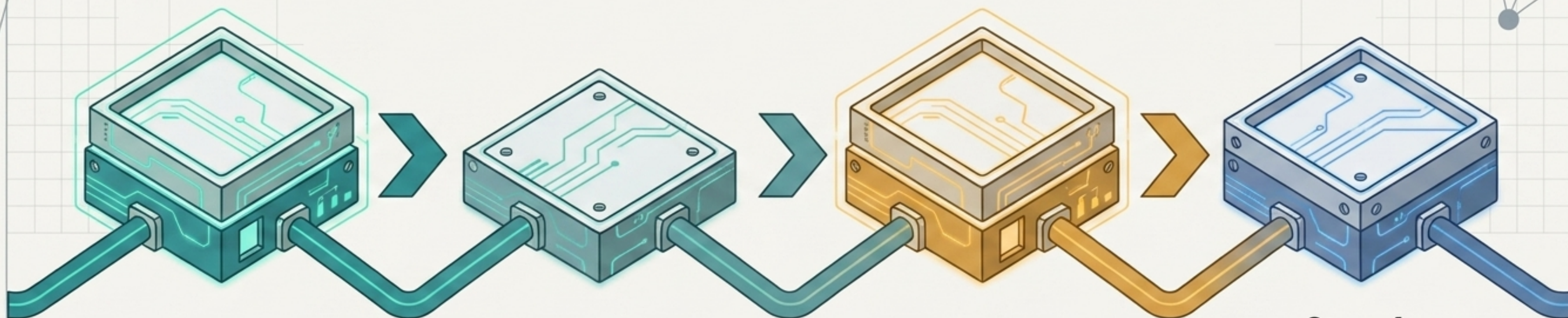
「必要な加算をサポートする旨」を事前に明記することで、初めて取得体制が整う。

実際の計画書パターンの確認



実際のフォーマット構造と記述の粒度を比較・確認します。

グループワーク・アクションプラン：4ステップ・クロノロジー



Step 1: 家族意向の記入

フェースシートを活用し、
家族の意向を計画へ転記。

Step 2: 目標の記入

アセスメントに基づき、
長期・短期目標を設定。

Step 3: 支援内容の決定

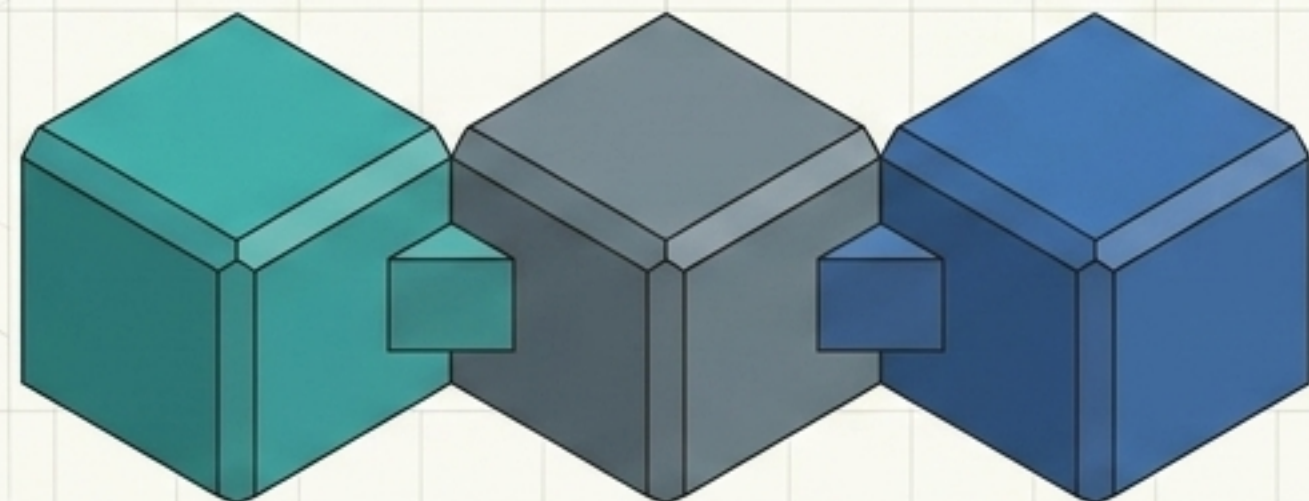
目標を細分化し、チェック
表のチェックマークに基づ
き具体的な支援内容（3要
素）を記述。

Step 4: 加算許可の事 前記入

C計画の留意事項欄に、必
要な加算をサポートする
旨を記述。

観察から計画へ、 計画から適切な支援と運営へ。

根拠のある個別支援計画書は、子どもの成長を最大化し、
施設の実践を正當に評価（加算）するための設計図です。



個別支援計画書

利用児氏名：○○ ○○

作成年月日： 年 月 日

利用児及び家族の生活に対する意向	・他児との関わりを通じて、社会性やコミュニケーションの土台を育んで欲しいです。(家族) ・体をスムーズに使い、他児とボール遊びなどの集団で関わって欲しいです。(家族)	
総合的な支援の方針	子どもの主体性のある遊びを活用して、原始反射統合及び感覚統合を支援する。関わり方は、子どもを信じ受容で関わる。	
長期目標 (内容・期間等)	・相手の状況や気持ちの理解ができる。 ・自分が嫌な気持ちになった時に対処ができる。	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	・人見知り、場所見知りがなくなり、他児と集団遊びができるようになる。 ・触覚過敏がなくなり、着れる服装の選択しを増やす。	月・火・木 13:00~17:30(曜日、時間の変動あり)土・祝 10:00~16:00(曜日、時間の変動あり)

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
本人支援	自分から集団遊びに参加して、お友達に「遊ぼう」など声をかけられるようになる。	・触覚(危険察知・ボディイメージ)の土台に発達の課題があり、ホイールなどを使用し、圧・摩擦の感覚刺激を積み上げ、感覚統合を支援する。	6 ヵ月	保育士児童指導員	必要な時は、専門的支援実施加算のサポートをします。	1
本人支援	お友達とボール遊びをし、体の位置を見なくても、うまく体を動かせる(筋肉の伸縮・関節の曲げ伸ばし)ようにする。	・固有受容覚(ボディイメージ・運動コントロール)の土台に発達の課題があり、ホイールを使用し、圧・摩擦の感覚刺激を積み上げ、感覚統合を支援する。	6 ヵ月	保育士児童指導員	必要な時は、専門的支援実施加算のサポートをします。	2
本人支援	タグが付いている服、手足にピタッとした服を着れるようになる。	・触覚の過敏さ課題があり、ボールプール・バランスボールなどを使用し、圧・摩擦の刺激を積み上げ、恐怖麻痺反射の統合を支援する。	6 ヵ月	保育士児童指導員	必要な時は、専門的支援実施加算のサポートをします。	3
家族支援	本児の特性についてや現在困っていることについて随時ご相談に乗ります。	ご家庭での様子をお聞きしたり、事業所での様子もお伝えしていくことで、必要な支援についてご相談に乗れるようにします。	6 ヵ月	児童発達支援管理責任者	・必要な時は事業所の様子を見てもらうなど、子育てサポート加算を実施します。・必要な時は家庭支援加算(IもしくはII)のサポートをします。	
移行支援	園での様子、事業所の様子を送迎時や保護者様を通じて共有しながら必要な支援の提案をしています。	普段の様子を相互に確認できるよう送迎時に先生にお話しを聞いたり、保護者様を通して連携し、本児ができていたりことや配慮が必要な所を共有していきます。	6 ヵ月	児童発達支援管理責任者 加納幼稚園 先生		
地域支援	保護者様・園の先生・相談員など各関係機関と連携をとり、共通認識を持って支援する。	必要な時は担当者会議等に参加し、情報収集・役割分担など支援について協議する。各関係機関からの情報を元に、子どもへの関わり方の提案を行います。	6 ヵ月	児童発達支援管理責任者 加納幼稚園 先生 相談支援専門員	必要な時は、関係機関連携加算 (IもしくはII)のサポートをします。	

※ 5 領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

児童発達支援管理責任者氏名：

年 月 日 (保護者署名)

押印
禁止

個別支援計画書

作成年月日： 年 月 日

利用児氏名：○○ ○○

利用児及び家族の生活に対する意向	・他児の顔色・気持ちを汲み取り、関わられるようになって欲しいです。（家族）
------------------	---------------------------------------

総合的な支援の方針	子どもの主体性のある遊びを活用して、原始反射統合及び感覚統合を支援する。関わり方は、子どもを信じ受容で関わる。
-----------	---

長期目標 (内容・期間等)	・就学までに他児の様子を汲み取り、臨機応変に対応できるようになる。 ・机に肘をつかずに、食事や習い事ができるようになる。	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度・時間)
短期目標 (内容・期間等)	・遊びを譲れるようになる。 ・時間の切り替えが速やかにできるようになる。 ・うまく体を使って遊べるようになる。	月・火・水・木・金 15:00～17:30(曜日、時間の変動あり) 土・祝 10:00～16:00(曜日、時間の変動あり)

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
本人支援	本人が好きな玩具で遊んでいる時に、お友達から「代わって」と声かけられたときに、心地よく玩具をあそべるようになる。	前庭覚（左脳・右脳を繋ぐ）の土台に発達の課題があり、ハンモックなどを使用し、揺れる・まわる・ボルタリングどを使用し、のぼるおりの感覚刺激を積み上げ、感覚統合を支援する。	6 ヵ月	保育士児童指導員	必要な時は、専門的支援実施加算のサポートをします。	1
本人支援	ボールをぎこちなく、蹴る・投げるようになる。	固有受容覚（ボディーイメージ・運動コントロール）の土台に発達の課題があり、ハンモック、ホイールなどを使用し、圧・摩擦の感覚刺激を積み上げ、感覚統合を支援する。	6 ヵ月	保育士児童指導員	必要な時は、専門的支援実施加算のサポートをします。	2
本人支援	園や自宅での食事・学びの際に、長時間肘をつかずとも、姿勢保持ができるよになる。	前庭覚（姿勢調整）の土台に発達の課題があり、ハンモックなどを使用し、揺れる・まわる・ボルタリングどを使用し、のぼるおりの感覚刺激を積み上げ、感覚統合を支援する。	6 ヵ月	保育士児童指導員	必要な時は、専門的支援実施加算のサポートをします。	3
家族支援	本児の特性についてや現在困っていることについて随時ご相談に乗ります。	ご家庭での様子をお聞きしたり、事業所での様子もお伝えしていくことで、必要な支援についてご相談に乗れるようにします。	6 ヵ月	児童発達支援管理責任者	・必要な時は事業所の様子を見てもらうなど、子育てサポート加算を実地します。・必要な時は家庭支援加算(IもしくはII)のサポートをします。	
移行支援	園での様子、事業所の様子を送迎時や保護者様を通じて共有しながら必要な支援の提案をしていきます。	普段の様子を相互に確認できるよう送迎時に先生にお話しを聞いたり、保護者様を通じて連携し、本児ができていることや配慮が必要な所を共有していきます。	6 ヵ月	児童発達支援管理責任者 加納幼稚園 先生		
地域支援	保護者様・園の先生・相談員など各関係機関と連携をとり、共通認識を持って支援する。	必要な時は担当者会議等に参加し、情報収集・役割分担など支援について協議する。各関係機関からの情報を元に、子どもへの関わり方の提案を行います。	6 ヵ月	児童発達支援管理責任者 加納幼稚園 先生 相談支援専門員	必要な時は、関係機関連携加算 (IもしくはII) のサポートをします。	

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

児童発達支援管理責任者氏名：

年 月 日 (保護者署名)

押印
處

発達土台の課題チェック表

氏名 ()

日付 . .

感覚名	場所	主な働き	感覚刺激	療育グッズ
前庭覚 モロー反射	三半規管のすぐそば	<ul style="list-style-type: none"> ・左脳（こだわり）と右脳（妥協）を繋ぐ（衝動性） ・姿勢調整（重力対抗） ・バランス（軸） ・覚醒（ぼんやり→シャキッ） ・眼球運動サポート（頭の位置の変化に対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・回る ・揺れる ・飛ぶ ・走る ・のぼるおりる ・中心を意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモック ・サイバーホイール ・ボルタリング ・バランスボール ・ロディーなど
固有受容覚 恐怖麻痺反射	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚全体の下にある筋肉 ・体全体にある関節 	<ul style="list-style-type: none"> ・力加減 ・ボディーイメージ（筋肉の伸び縮み） ・運動をコントロール（関節を曲げ伸ばし） ・情緒安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧が入る ・ぶつかる ・擦れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモック ・バランスボール ・サイバーホイール ・ボールプール ・ロディー ・体育マットなど
触覚 恐怖麻痺反射	皮膚全体	<ul style="list-style-type: none"> ・防衛する（皮膚を通して危険察知） ・識別する（探索） ・ボディーイメージ（体の輪郭・大きさ・長さ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧が入る ・ぶつかる ・擦れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモック ・バランスボール ・サイバーホイール ・ボールプール ・体育マットなど
視知覚	目の六眼筋 上 下 奥 手前 斜め上 斜め下	<ul style="list-style-type: none"> ・枠をとらえる ・字の形をとらえる ・文字の前後をとらえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目の微細な動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃぼん玉 ・風船